Canon

LASER SHOT

レーザビームプリンタ

LASER SHOT
LBP-1420

ＬＩＰＳ機能ガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

CD-ROM このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書CD-ROMに収められているPDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド（紙マニュアル／CD-ROM）

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド（紙マニュアル）

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（CD-ROM）

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編（紙マニュアル）

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編（CD-ROM）

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド（本書）（CD-ROM）

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第1章 メニュー機能の使いかた
必ずお読みください

第2章 メニューの機能と操作
必ずお読みください

第3章 セットアップメニューの設定項目

第4章 セットアップ以外のメニューの設定項目

第5章 付録

ソフトウェアのバージョンアップ方法やユーティリティメニューから出力できるリスト、動作モードを切り替えて出力できるリストの内容などについて説明しています。

巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。

目次

第３章　セットアップメニューの設定項目

第４章　セットアップ以外のメニューの設定項目

第５章　付録

はじめに

このたびはキヤノンLBP-1420をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]
  例：[オンライン]
  　　[ユーティリティ]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
LASER SHOT LBP-1420：	LBP-1420

規制について

商標について

Canon、Canonロゴ、LBP、LIPS、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。

LASER SHOTは、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

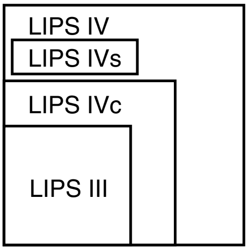
本製品が対応しているコントロールコマンドについて

本プリンタは標準でLIPS コントロールコマンドに対応しています。

コントロールコマンドとは、プリンタを制御するコマンド体系のことで、パソコンのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されます。

本プリンタが標準で対応している LIPSコントロールコマンドはLBP Image Processing Systemの略で、キヤノンのページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。

LIPS には、現在LIPS II、LIPS II^{+}、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVs、LIPS IVのバージョンがあります。これらのうち本機では、Windows および Macintosh専用のコントロールコマンドのLIPS IVs（内蔵フォントなし）に対応しています。



メニュー機能の使いかた

1
CHAPTER

この章では、プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレイの見かたについて説明しています。

メニュー機能

メニュー機能の概要や種類について説明しています。

メニュー機能とは

プリント時には、プリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。

しかし、本プリンタには、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じてプリントできます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能の設定はプリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。

メモ　メニュー機能の設定内容は、通常は電源をオフにしても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって、電源を入れなおしても、電源をオフにする前と同じ設定で起動します。

●設定の優先順位

アプリケーションソフトやプリンタドライバと同じ項目をメニュー機能で設定しても、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。



プリンタドライバは本プリンタに付属しています。操作については、「LIPSソフトウェアガイド／本編」、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

設定項目によっては、プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

メニューの種類

メニューには、次の図で示した６種類があります。

それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルのキーを押して、ディスプレイに表示します。

各メニューの機能、構造、および操作の流れについては、「メニューの機能と操作」（→ P. 2-1）を参照してください。

また、各メニューの内容については、「セットアップメニューの設定項目」（→P.3-1）を参照してください。

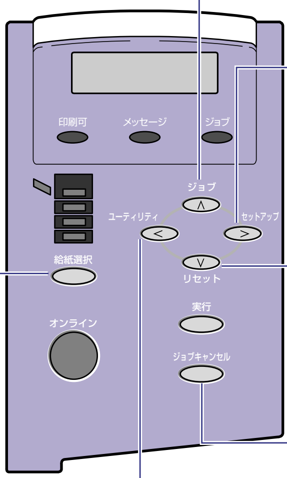
給紙選択メニュー
用紙のサイズなどを設定します。

ジョブメニュー
印刷履歴リストをプリントします。

セットアップメニュー
エラー時の処理やインタフェースの種類など、プリントするときの環境を設定します。

リセットメニュー
プリンタのリセット操作やプリントデータの排出を行います。

ジョブキャンセルメニュー
現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

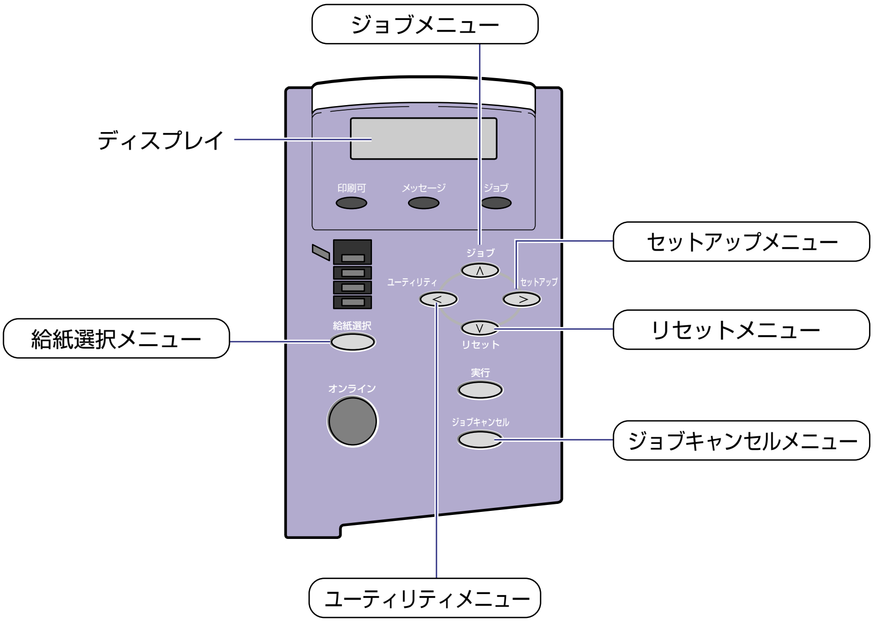


ユーティリティメニュー
プリンタの現在の設定内容などの内部情報をプリントします。

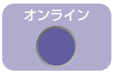
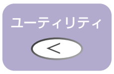
操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、［セットアップ］、［ユーティリティ］、［ジョブ］、［リセット］、［ジョブキャンセル］、［給紙選択］には、メニューを表示する機能があります。



■ 各キーの機能は、次のとおりです。

キー	機能	
	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。本文中では［オンライン］と表記します。	
	オフライン状態に切り替えた直後	メニューの表示中
	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。	動作しません。
	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。	給紙選択メニュー内では、［>］と同じ動作（項目や設定値の選択）をします。
	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［<］と表記します。
	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では［∧］と表記します。
	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［∨］と表記します。［実行］と同じ動作をします。
	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［>］と表記します。
	動作しません。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［実行］と表記します。［∨］と同じ動作をします。

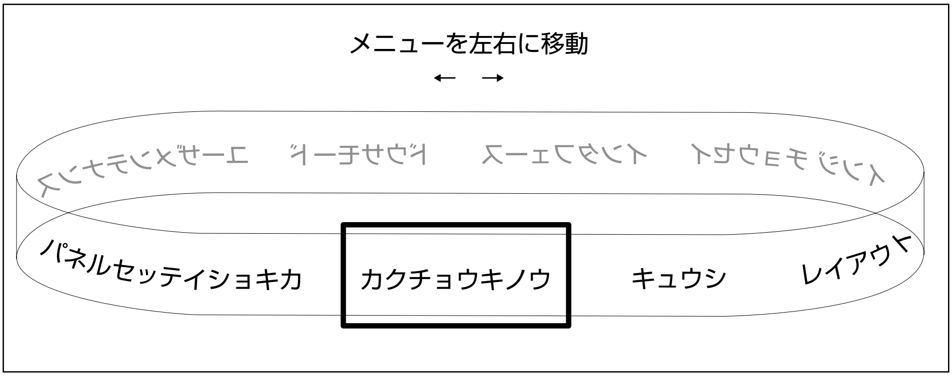
ディスプレイの見かた

メニュー機能を設定するときの、プリンタのディスプレイに表示される内容について説明しています。

メニューの構造

メニューは下の図のように、1つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、[<] や [>] を押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。



メニュー操作に入ることができる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。プリント可能な状態とは、次の2つの条件を満たしている状態です。

- ジョブランプとメッセージランプが消灯している
- ディスプレイに「00　■■■■」のメッセージが表示されている

例）プリント可能表示

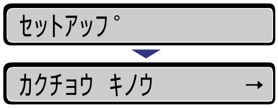


ディスプレイの見かた

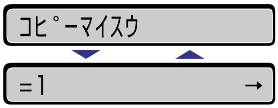
ディスプレイの表示は１行（16文字）です。

キーを押してメニューを表示したあと、自動的にそのメニューの最初の階層の項目が表示されます。

同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。



メニューの一番下の階層を表示したあと、何も操作を行わないと、自動的に一つ上の階層の項目と現在選択されている階層の項目が交互にディスプレイに表示されます。



現在設定されている設定値は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

メニューの機能と操作

2
CHAPTER

この章では、各メニューの構造と操作パネルでプリント環境を設定する方法について説明しています。

セットアップメニューの機能と操作

セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

セットアップメニューの機能と構造

ここでは、セットアップメニューの機能とメニュー構造について説明します。

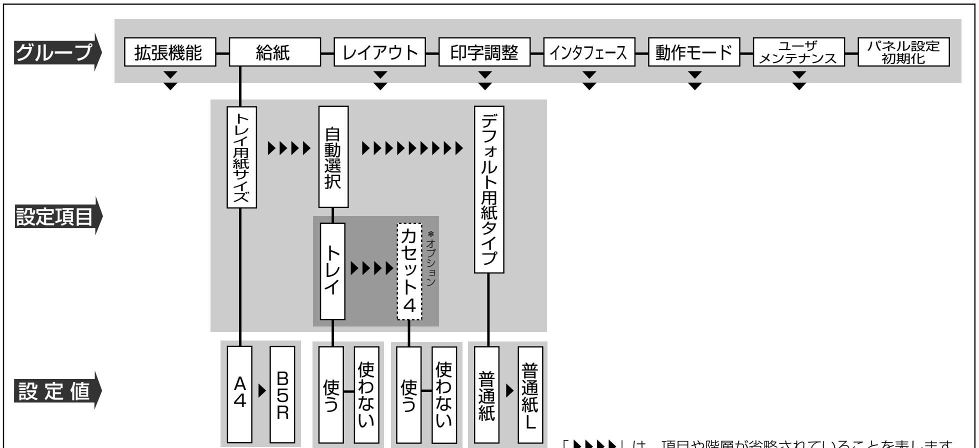
セットアップメニューの機能

セットアップメニューでは、エラー時の処理やパソコンと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。

通常、プリント環境は、接続しているパソコンのアプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタのセットアップメニューでしか行えないものもあります。

セットアップメニューの構造

セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。



「▶▶▶▶」は、項目や階層が省略されていることを表します。

メモ

- 項目によっては、「給紙」グループの「自動選択」のように、設定項目の階層が2つに分かれているものがあります。
- 「パネル設定初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（→ P.2-15）を参照してください。
- 点線枠の項目は、ペーパーフィーダを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。

セットアップメニューの操作の流れ

セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、印字調整グループの「印字動作」の項目を「画質優先」に設定する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	**オフライン状態に切り替える**	**[オンライン] を押す**
2	**セットアップメニューを表示する** セットアップ゜ カクチョウ キノウ →	**[セットアップ] を押す** セットアップメニューが表示されます。
3	**グループを選択する** 「印字調整」グループを選択した場合 インシ゛ チョウセイ →	**[<] または [>] を押す** 目的のグループが表示されます。
4	**設定項目を表示する** スーハ゜ースムース゛ →	**[実行] を押す** 選択したグループの設定項目が表示されます。
5	**設定項目を選択する** 「印字動作」を選択した場合 インシ゛ ト゛ウサ →	**[<] または [>] を押す** 目的の設定項目が表示されます。
6	**設定値を表示する** =シ゛ト゛ウ →	**[実行] を押す** 選択した設定項目の設定値が表示されます。

7 **設定値を選択する**

「画質優先」を選択した場合

ｶﾞｼﾂ ﾕｳｾﾝ →

［＜］または［＞］を押す

目的の設定値が表示されます。

8 **選択した値を確定する**

［実行］を押す

9 **オンライン状態に戻す**

［オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［∧］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。
- 項目によっては、設定項目の階層が 2 つの層に分かれている場合があります。

ユーティリティメニューの機能と操作

ユーティリティメニューの概要と操作手順について説明しています。

ユーティリティメニューの機能と構造

ここでは、ユーティリティメニューの機能とメニュー構造について説明します。

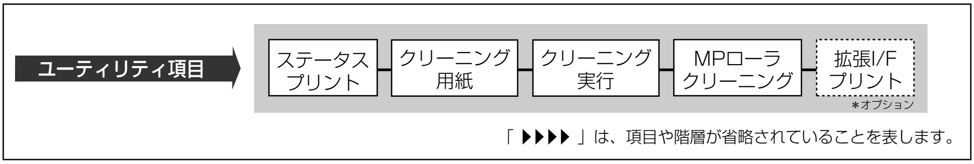
ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、プリントサーバ（オプション）の情報をプリントして確認することができます。

詳しい項目の内容については「ユーティリティメニューの設定項目」（→ P.4-3）を参照してください。

ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューの階層は１つです。



メモ　点線枠の項目は、オプションのプリントサーバが装着されている場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューは、「ユーティリティ項目」の階層で目的の項目を選択します。
ここでは、「ステータスプリント」をプリントする手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 ユーティリティメニューを表示する ユーティリティ ▼ ステータス プリント →	[ユーティリティ] を押す ユーティリティメニューが表示されます。
3 ユーティリティ項目を選択する ステータス プリント →	[＜] または [＞] を押す 目的のユーティリティ項目が表示されます。
4 選択した項目を確定する	[実行] を押す ステータスプリントがプリントされます。
5 オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

ジョブメニューの機能と操作

ジョブメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブメニューの機能と構造

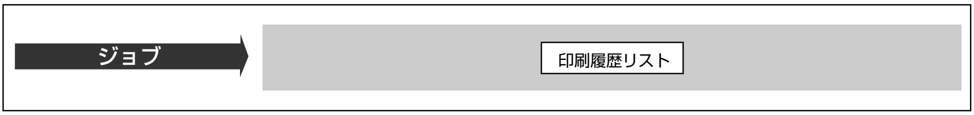
ここでは、ジョブメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ジョブメニューの機能

ジョブメニューでは、印刷履歴をプリントすることができます。
詳しい項目の内容については「ジョブメニューの設定項目」(→P.4-5) を参照してください。

ジョブメニューの構造

ジョブメニューの階層は1つです。



ジョブメニューの操作の流れ

ここでは、「印刷履歴リスト」をプリントする手順を説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 ジョブメニューを表示する インサツリレキ　リスト　↓	[ジョブ] を押す ジョブメニューが表示されます。
3 「印刷履歴リスト」をプリントする	[実行] を押す 印刷履歴リストがプリントされます。
4 オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

リセットメニューの機能と操作

リセットメニューの概要と操作手順について説明しています。

リセットメニューの機能と構造

ここでは、リセットメニューの機能とメニュー構造について説明します。

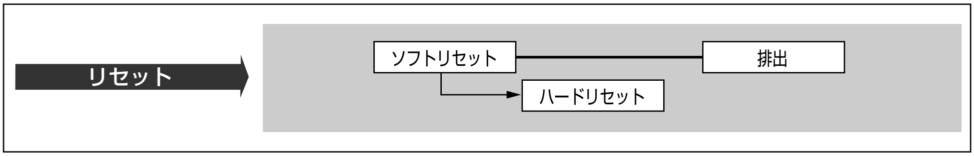
リセットメニューの機能

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っているプリントデータの排出をすることができます。

詳しい項目の内容については「リセットメニューの設定項目」（→ P.4-6）を参照してください。

リセットメニューの構造

リセットメニューの階層は１つです。



メモ　「ハードリセット」は、ディスプレイに「ソフト リセット」と表示されている状態で、［実行］を３秒以上押すと表示されます。

リセットメニューの操作の流れ

ここでは、「ソフトリセット」を実行する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン］を押す
2	リセットメニューを表示する リセット ▼ ソフトリセット →	[リセット］を押す リセットメニューが表示されます。
3	実行したい項目を選択する 「ソフトリセット」を選択した場合 ソフトリセット →	[＜］または［＞］を押す 目的の項目が表示されます。
4	選択した項目を確定する	[実行］を押す ソフトリセットが実行されます。
5	オンライン状態に戻す	[オンライン］を押す

メモ　オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

ジョブキャンセルメニューの機能と操作

ジョブキャンセルメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

- 本プリンタ専用ではないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
- ジョブキャンセルの処理は約 2 秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。
- ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止したいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、気を付けてください。
- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされない場合があります。

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

操作の手順	キー操作
1 ジョブの処理中にオフライン状態に切り替える	［オンライン］を押す
2 ジョブをキャンセルする 03 ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ	［ジョブキャンセル］を押す メッセージの表示と同時にプリンタがオンライン状態になり、ジョブキャンセル状態が約 2 秒間続きます。プリントデータの受信が完了している場合、ジョブのキャンセル処理が終了し、プリント可能な状態に戻ります。 プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、「00　ジョブ　スキップ」が表示されます。ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

メモ
- ジョブをキャンセルできるのは、データ処理中、またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯、または点滅している状態のときです。
- ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名（「セントロニクス」、「USB」など）がディスプレイに表示されます。

給紙選択メニューの機能と操作

給紙選択メニューの概要と操作手順について説明しています。

給紙選択メニューの機能と構造

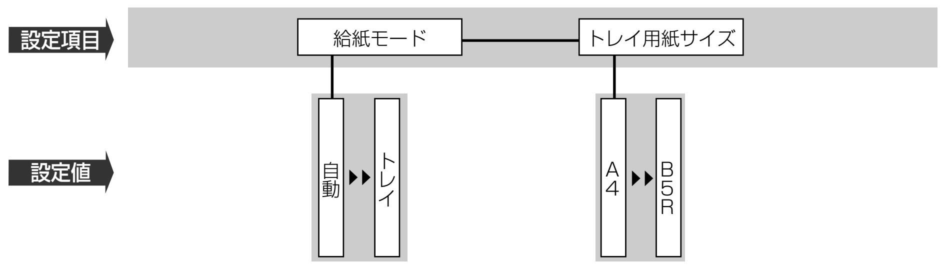
ここでは、給紙選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。

給紙選択メニューの機能

給紙選択メニューでは、給紙トレイの用紙サイズを選択できます。

給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューの階層は2つの階層に分かれています。



「▶▶▶▶」は、項目や階層が省略されていることを表します。

メモ　トレイ用紙サイズについては、セットアップメニューの給紙グループでも同様の設定ができます。

2 メニューの機能と操作

給紙選択メニューの操作の流れ

給紙選択メニューには、「設定項目」「設定値」の２つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、「トレイ用紙サイズ」の項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン］を押す
2 給紙選択メニューを表示する （表示：キュウシ モード →）	[給紙選択］を押す 給紙選択メニューが表示されます。
3 設定項目を選択する 「トレイ用紙サイズ」を選択した場合 （表示：トレイ ヨウシ サイズ →）	[＜］または［＞］を押す 目的の設定項目が表示されます。
4 設定値を表示する （表示：=A4 →）	[実行］を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。 ［実行］のかわりに［給紙選択］を押しても、設定値を表示することができます。
5 設定値を選択する 「B5」を選択した場合 （表示：B5 →）	[＜］または［＞］を押す 目的の設定値が表示されます。 ［＜］または［＞］のかわりに［給紙選択］を押しても、設定値を選択することができます。
6 選択した値を確定する	[実行］を押す
7 オンライン状態に戻す	[オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値を設定し、オフライン状態に戻ります。

セットアップメニューの初期化

セットアップメニューの初期化の概要と操作手順について説明しています。

セットアップメニューの初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	セットアップメニューを表示する セットアップ ▼ カクチョウ キノウ →	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3	グループで「パネル設定初期化」を選択する パネル セッテイ ショキカ →	[<] または [>] を押す
4	初期化を実行する ジッコウ シマスカ? →	[実行] を押す 確認メッセージが表示されます。
5	メッセージを確認後、実行する	[実行] を押す 初期化の実行中は「ショキカ　チュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ　シュウリョウ」が表示されます。
6	オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

重要

- 初期化の実行中に電源をオフしないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。
- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効になりません。

メモ

- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。ただし、ディスプレイに「ショキカ　チュウ」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。
- セットアップメニューの初期化を実行しても、以下の項目は初期化されません。
  ･インタフェースグループの「拡張ネットワーク」
  ･ユーザメンテナンスグループの「特殊モードK」

セットアップメニューの設定項目

3
CHAPTER

この章では、セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 「★」印が付いている項目は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、設定はプリンタドライバから行ってください。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ 拡張機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スリープ動作	**スル**、オンライン　ノミ、シナイ	P.3-7
スリープモード	**15 フン**、30 プン、60 プン	P.3-7
警告処理	**ケイゾク**、テイシ	P.3-8
自動エラースキップ	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-8
表示言語	**ニホンゴ**、ENGLISH	P.3-8
ブザー	**1カイ**、レンゾク	P.3-9
警告表示	**スル**、シナイ	P.3-9

■ 給紙グループ

設定項目	設定値	参照ページ
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R	P.3-10
デフォルト用紙サイズ	**A4**、B4、A3、B6、A5、B5	P.3-10
用紙の向き	**ジドウ**、タテオクリ、ヨコオクリ	P.3-11
トレイ優先	**シナイ**、スル	P.3-11
自動選択	トレイ. . . **ツカウ**、ツカワナイ カセット 1. . . **ツカウ**、ツカワナイ カセット 2*. . . **ツカウ**、ツカワナイ カセット 3*. . . **ツカウ**、ツカワナイ カセット 4*. . . **ツカウ**、ツカワナイ	P.3-12
デフォルト用紙タイプ	**フツウシ**、アツガミ、OHP、フツウシ L	P.3-12

■ レイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
コピー枚数★	**1** ～ 2000	－
縦補正	-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm	P.3-13
横補正	-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm	P.3-13
とじ方向★	**ナガテ**、ミジカテ	－
とじ幅★	-30.0mm ～ **0.0mm** ～ +30.0mm	－

■ 印字調整グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スーパースムーズ★	**ツカウ**、ツカワナイ	－
解像度★	**ファイン**、クイック	－
階調処理★	**ヒョウジュン**、コウカイチョウ	－
トナー節約★	**ツカワナイ**、ツカウ	－
トナー濃度	1～**4**～8	P.3-14
中間調選択★	**パターン 1**、パターン2	－
バンド制御	**スル**、シナイ	P.3-14
ページ制御 *	**スル**、シナイ	P.3-15
画質警告	**ケイゾク**、テイシ	P.3-15
印字動作	**ジドウ**、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン	P.3-16

■ インタフェースグループ

設定項目	設定値	参照ページ
インタフェース選択	**ジドウ**、セントロニクス、USB、カクチョウ I/F*	P.3-18
タイムアウト	5 ～ **15** ～ 300 ビョウ、シナイ	P.3-18
セントロニクス設定 *		
BUSY-ACK	**A-B-A**、A-B、B-A	P.3-19
セントロ受信速度	**コウソク**、チュウソク、テイソク	P.3-20
セントロ送信速度	**コウソク**、チュウソク、テイソク	P.3-20
インプットプライム	**ドウサモード　イゾン**、リセット	P.3-20
双方向	**ECP**、ニブル、ツカワナイ	P.3-21
ジョブ区切り	**シナイ**、スル	P.3-22
拡張ネットワーク *		
TCP/IP	フレームタイプ： Ethernet　2、ムコウ IP モード *： シュドウ、ジドウ プロトコル *： DHCP ....オフ、オン BOOTP ....オフ、オン RARP ....オフ、オン アドレス *： IP アドレス.............................（数値） サブネットマスク ....（数値） ゲートウェイアドレス ....（数値）	P.3-22
設定登録	－	P.3-23
ネットワーク設定初期化	－	P.3-23
コネクション認識 *	**スル**、シナイ	P.3-24

■ 動作モードグループ

設定項目	設定値	参照ページ
動作モード選択	**LIPS**、HEX-DUMP、LIPS-DUMP	P.3-25

■ ユーザメンテナンスグループ

設定項目	設定値	参照ページ
特殊モードK	**モード1**、モード2、モード3	P.3-26

拡張機能グループの設定項目

拡張機能グループでは、プリンタにエラーが発生したときの動作などについて設定できます。

スリープ動作

スル、オンライン　ノミ、シナイ

「スリープモード」（→次項目）で設定した時間が経過したときに、プリンタの状態によってスリープモードに移行するかどうかを設定することができます。

「スル」に設定すると、プリンタがオンライン状態でもオフライン状態でもスリープモードに移行します。

「オンライン　ノミ」に設定すると、プリンタがオフライン状態ではスリープモードに移行しません。

「シナイ」に設定すると、プリンタがオンライン状態でもオフライン状態でもスリープモードに移行しません。

スリープモード

15 フン、30 プン、60 プン

パネル操作を行わなかったり、パソコンからのデータがこなかったり、プリンタに変化のない状態が一定時間経過したときに、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。オンラインからスリープモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからスリープモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。

メモ

- 操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。
- 本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。
  - ･「nn-nn　サービスコール」（nnは２桁の英数字）が表示されている
  - ･ ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中
  - ･「スリープ動作」（→前項目）を「オンライン　ノミ」、「シナイ」に設定している

警告処理

ケイゾク、テイシ

以下の警告メッセージが表示されたときに、プリントを継続するか停止するかを設定します。

警告メッセージ	プリンタの状態
「16　トナー　チェック」	トナーカートリッジの寿命が近くなって交換が必要

「ケイゾク」に設定すると、上記のメッセージを表示しながらプリントを継続します。「テイシ」に設定すると、プリントを停止します。その後、表示されたメッセージにしたがって警告状態を解除すると、プリントが再開されます。

重要　「16　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、カートリッジを交換したあと、再度プリントを行ってください。

メモ　本項目を「テイシ」にした場合、「16　トナー　チェック」は「16　トナー　コウカン」という表示に変わりプリントが停止します。

自動エラースキップ

ツカワナイ、ツカウ

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除してプリントを続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、［オンライン］を押してエラースキップさせる必要があります。

「ツカウ」に設定すると、［オンライン］を押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ
- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、自動エラースキップ可能なエラーはすべて自動的にエラースキップします。

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ　ENGLISH表示の場合のメニュールートマップはありません。

ブザー

1カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのか設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ　エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

スル、シナイ

プリンタの状態を警告するメッセージ（警告メッセージ）を表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

メモ　本項目を「シナイ」に設定して表示されなくなるメッセージについては、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

給紙グループの設定項目

給紙グループでは、給紙トレイや給紙カセットからプリントするときの用紙サイズなどについて設定できます。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R

給紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

メモ
- 本項目を「フリー」に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙にプリントしても、用紙サイズの交換を要求するメッセージが表示されないので、データが欠けてプリントされることがあります。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、[オンライン]を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形4号に、「フウトウ　Y2」は洋形2号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10 mm内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド「第3章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から5mm内側までとなります。
- 給紙選択メニューの「トレイ用紙サイズ」でも同様の設定ができます（→ P.4-8）。

デフォルト用紙サイズ

A4、B4、A3、B6、A5、B5

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できない場合の論理上の用紙サイズを設定します。

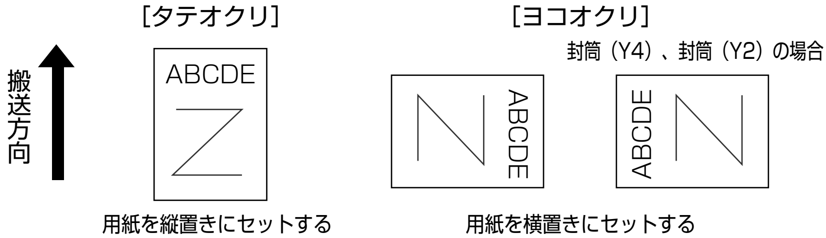
重要　用紙サイズの設定は、プリンタドライバから行います。

用紙の向き

ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ

横置きにも縦置きにもセットできる用紙を使うときに、用紙の置きかたを設定します。給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙の置きかたが、横置きのときは「ヨコオクリ」に、縦置きのときは「タテオクリ」に設定します。自動的に認識させたいときは「ジドウ」に設定します。

なお、本項目は置きかたを設定するだけなので、本項目を変更しても用紙に印字する向きは変わりません。



メモ

- 給紙カセットから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ･縦置きのみ：A3、B4、レジャー、リーガル
  - ･横置きのみ：A5、B5、レター、エグゼクティブ
  - ･縦置き・横置き：A4
- 給紙トレイから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ･縦置きのみ：A3、B4、B6、ハガキ、往復ハガキ、レジャー、リーガル、ユーザペーパー
  - ･横置きのみ：封筒（洋形4号、洋形2号）
  - ･縦置き・横置き：A4、A5、B5、レター、エグゼクティブ

トレイ優先

シナイ、スル

自動給紙が設定されている場合に、プリンタが給紙トレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は次の順序で行われます。
カセット1 →カセット2 *1 →カセット3 *1 →カセット4 *1 → 給紙トレイ
「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、給紙トレイから次の順序で行われます。
給紙トレイ →カセット1 →カセット2 *1 →カセット3 *1 →カセット4 *1
*1：ペーパーフィーダ装着時のみ

メモ

- 自動給紙はプリンタドライバで設定します。
- 本項目は自動給紙が設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「スル」に設定しても、給紙トレイの用紙サイズ、用紙タイプ、用紙名称と受信データの用紙サイズ、用紙タイプ、用紙名称が異なるときは、給紙トレイからは給紙されません。

- 受信データによっては、受信データと同じ用紙サイズの給紙カセットの給紙元表示ランプが点灯しているときに、本項目が「スル」に設定されていても給紙トレイから給紙されずにカセットから給紙される場合があります。
- カセット２、カセット３、カセット４はオプションです。

自動選択

トレイ............ ツカウ、ツカワナイ
カセット１..... ツカウ、ツカワナイ
カセット２ *.. ツカウ、ツカワナイ
カセット３ *.. ツカウ、ツカワナイ
カセット４ *.. ツカウ、ツカワナイ

*「カセット２」、「カセット３」、「カセット４」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。給紙トレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

メモ　自動給紙は、プリンタドライバで設定します。

デフォルト用紙タイプ

フツウシ、アツガミ、OHP、フツウシ L

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

- 「フツウシ」　普通紙、再生紙、ラベル用紙
- 「アツガミ」　厚紙（91g/m^2～ 157g/m^2）
- 「OHP」　OHP フィルム
- 「フツウシ L」　普通紙、再生紙

重要　「アツガミ」、「OHP」のいずれかに設定した場合、印刷速度が遅くなります。

メモ
- 通常、用紙タイプを設定する場合は、プリンタドライバで設定してください。
- 「フツウシ」に設定してプリントした結果、用紙のカールが目立つときは、「フツウシ L」に設定してください。ただし、「フツウシ L」に設定するとトナーが用紙に定着しにくくなります。
- ハガキ、往復ハガキおよび封筒の場合は「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-10）で設定すると自動的にそれぞれに適した印字モードでプリントされます。このメニューで設定する必要はありません。

レイアウトグループの設定項目

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、とじ代用の余白の設定など、プリントするときの体裁に関わる条件について設定できます。

縦補正／横補正

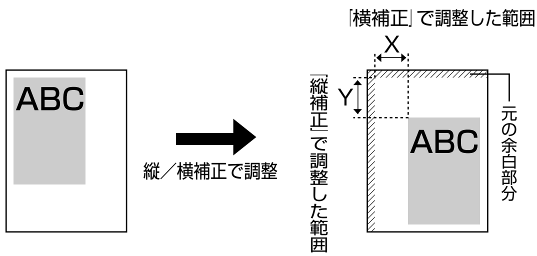
-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦補正： 設定値が増えると用紙のＹ方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙のＹ方向の余白が狭くなります。

横補正： 設定値が増えると用紙のＸ方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙のＸ方向の余白が狭くなります。



重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ　［>］を押すたびに設定値が0.5 mmずつ増え、［<］を押すたびに設定値が0.5 mmずつ減ります。また、［>］あるいは［<］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

3
セットアップメニューの設定項目

印字調整グループの設定項目

印字調整グループでは、データの解像度や高解像度印字の際のメモリ設定など、プリントの品質について設定できます。

トナー濃度

1～**4**～8

プリントするときの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

バンド制御

スル、シナイ

本プリンタでは最小限のメモリで高画質のプリントを実現するために、「バンド制御」という処理を行っています。

通常は「スル」に設定しておきます。「21　プリント　オーバーラン」というメッセージが表示された場合は、「シナイ」に設定してください。ただし、プリント速度は落ちます。プリント速度を落とさずにプリントしたい場合は解像度をクイックモード（300dpi）に設定してください。それでも「21　プリント　オーバーラン」が表示される場合は、本項目を「シナイ」に設定してください。

メモ　解像度の項目はプリンタドライバで設定します。

●バンド制御とは

バンド制御とは、パソコンから受信したデータを逐次ビットマップ展開して、展開した分のデータからすぐに出力するので、メモリが少なくてすみ、高速に処理できます。

しかし、バンド制御の処理では、データが複雑だとビットマップ展開に時間がかかり、出力とのタイミングがずれてしまうことがあります。そのようなときは、「21　プリント　オーバーラン」というメッセージが表示されます。

ページ制御

スル、シナイ

* 本項目は、32MB 以上の拡張 RAM が増設されている場合にのみ表示されます。

あらかじめメモリの印字領域を確保することで処理を高速に行うことができます。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ
- 本項目は「印字動作」(→P.3-16)を「ジドウ」に設定したときのみ有効です。
- データの種類によっては本項目を「スル」に設定すると処理速度が低下する場合があります。そのような場合は、「シナイ」に設定してください。

画質警告

ケイゾク、テイシ

「解像度」が「ファイン」に設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、600dpi の解像度を自動的に 300dpi に落としてプリントすることがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「ケイゾク」に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に解像度 300dpi でプリントします。

「テイシ」に設定すると、メッセージを表示してプリントを停止します。その場合、[オンライン] を押すと、解像度 300dpi でプリントを再開します。

メモ
- 本項目を「テイシ」に設定したとき、エラーが発生すると「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが表示されます。この場合、[オンライン] を押してエラーを解除することもできますが、処理スピードや印字品位が低下することがあります。
- 本項目を「テイシ」に設定して、「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。
  1. 「印字動作」の項目を「ガシツ　ユウセン」に設定します
  2. 1 の対処を行ってもメッセージが表示される場合で「階調」の設定が高階調に設定されている場合は、標準に設定します
ただしこの場合は、階調を落としてプリントします
  3. 2 の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張 RAM を増設します
- 本項目を「テイシ」に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、[オンライン] を押すとエラーを解除することができます。ただし、正しくプリントされない場合があります。
- 解像度、階調の設定はプリンタドライバから行います。

印字動作

ジドウ、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン

メモリ（RAM）の配分のしかたや、データの処理方法について設定します。

本プリンタに搭載されているRAM（標準で12MB）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。

ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合は、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。

また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけではなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。

「ジドウ」に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。

「ガシツ　ユウセン」に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリントのスピードが若干遅くなることがあります。「ジドウ」に設定していて「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。

「トウロク　ユウセン」に設定すると、描画メモリは「ガシツ　ユウセン」の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。

そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ

- 登録用の領域として使用できるメモリ容量は、ステータスプリントの「空きメモリ量」を目安にしてください。ただし、ステータスプリントの「空きメモリ量」にプリントされる値はプリンタ待機時の値です。プリンタの状態、ご使用のOSやソフトウェアなどの条件によっては、実際の空きメモリ量がプリントされている値より小さいことがあります。
- 「ガシツ　ユウセン」に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。

●「ガシツ　ユウセン」に設定した場合

プリンタの搭載メモリによって、プリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で、画質を落とさずにプリントすることができます。

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ
12（標準）	B4
28（+16MB）*	A3×2
44（+32MB）*	A3×4
76（+64MB）*	A3×8
140（+128MB）*	A3×8

*表中に（+●●MB）とあるのは、標準のRAM（12MB）に加えて必要なオプションの拡張RAMの容量を示します。

上記の印字保証サイズは、「解像度」がファインモード、「階調」が標準に設定されてる場合の値です。プリント時のデータ処理解像度や階調の設定によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

設定項目	設定値	倍率
解像度	クイック	4倍
	ファイン	等倍
階調	標準	等倍
	高階調	1/2倍

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を「ガシツ　ユウセン」に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

インタフェースグループの設定項目

インタフェースグループでは、パソコンと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定できます。

インタフェースグループの設定は、パソコン側のユーティリティソフトからは行えません。必ず、プリンタの操作パネルで設定してください。

インタフェース選択

ジドウ、セントロニクス、USB、カクチョウ　I/F*

*「カクチョウ　I/F」は、オプションのプリントサーバが装着されている場合にのみ表示されます。

パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。

「ジドウ」に設定すると、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。

先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。

「セントロニクス」「USB」「カクチョウ　I/F」は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に設定します。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ　拡張RAMを増設していない状態で、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してプリントする場合、本項目を「ジドウ」ではなく「セントロニクス」、「USB」など、個別のインタフェースに設定すると、データの処理速度が速くなることがあります。

タイムアウト

5 ～ 15 ～ 300 ビョウ、シナイ

自動ジョブ終了の機能を設定します。

本項目でタイムアウトの時間を設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。

本項目を設定しておくと、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないためにプリント内にデータが残ったままの状態のとき、自動的に排紙することができます。

「シナイ」に設定した場合は、自動ジョブ終了の機能を使いません。

重要 自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。

メモ
- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

セントロニクス設定

■ busy-ack

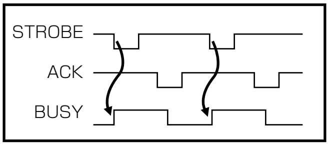
A-B-A、A-B、B-A

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

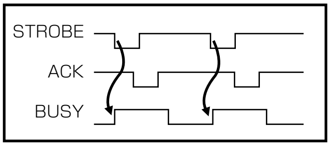
BUSY 信号と ACKNLG 信号の出力順位を変更することができます。通常は「A-B-A」に設定しておいてください。

メモ 各設定値ごとのBUSY信号とACKNLG信号の出力順位は次のとおりです。

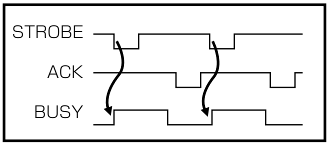
「A-B-A」:



「A-B」:



「B-A」:



3 セットアップメニューの設定項目

■ セントロ受信速度

コウソク、チュウソク、テイソク

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

メモ 「コウソク」に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、「チュウソク」または「テイソク」に設定してください。

■ セントロ送信速度

コウソク、チュウソク、テイソク

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

■ インプットプライム

ドウサモード　イゾン、リセット

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。

「ドウサモード　イゾン（動作モード依存）」は、インタフェースの種類の設定で「ジドウ」または「セントロニクス」を選択している場合に機能します。インプットプライムを受信すると、ジョブを終了します。

「リセット」は、インタフェースの種類の設定で「セントロニクス」を選択している場合にのみ機能します。インプットプライムを受信すると、プリンタをリセットします。

拡張インタフェースを使用している場合は、インプットプライムは無視されます。

メモ

- リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。
- インプットプライムを受信し、処理をしている間は、ディスプレイに「03　インプットプライム」と表示されます。

■ 双方向

ECP、ニブル、ツカワナイ

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。通常は「ECP」に設定しておいてください。

「ECP」に設定すると、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ECP モード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ニブル」に設定すると、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ツカワナイ」に設定すると、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- 本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE 1284.4 規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化、パケットプロトコルを実現しています。本プリンタは IEEE 1284.4 規格の中の ECP モード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。
- お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、「ECP」に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、「ニブル」または「ツカワナイ」に設定してプリントしてください。
- 本項目を「ツカワナイ」に設定したときは、次の手順で Windows プリンタドライバの設定で双方向通信機能を使わないように設定してください。
  ＜ WindowsNT4.0 ／ 2000 ／ XP の場合＞
  - ［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］（Windows NT/2000）、［プリンタと FAX］（Windows XP）を選択します。
  - お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］メニューを選択します。
  - ［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］のチェックを外します。

■ ジョブ区切り

シナイ、スル

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースを使用してプリントしたときに不具合が発生することがあります。このようなときに「スル」に設定します。

重要　「スル」に設定した場合、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けや受信したジョブがプリントされないなど）があります。このような場合には、以下のいずれかの方法でプリントしなおしてください。
・Canon Driver Information Assist Serviceをインストールする
・「双方向」（➞前項目）を「ツカワナイ」に設定する
・プリンタがオンラインになっていることを確認して、パソコンからデータを送信する

拡張ネットワーク

■ TCP/IP

フレームタイプ .... ETHERNET　2、ムコウ
IPモード* .... シュドウ、ジドウ
プロトコル*
　DHCP............................. オフ、オン
　BOOTP........................... オフ、オン
　RARP............................. オフ、オン
アドレス*
　IPアドレス .... 数値
　サブネットマスク........... 数値
　ゲートウェイアドレス ... 数値

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合にのみ表示されます。

*「IPモード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET　2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IPモード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IPモード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 工場出荷時の設定値は、装着するプリントサーバによって異なります。

本プリンタにオプションで装着されたプリントサーバのTCP/IP設定を行います。本項目では、TCP/IPのフレームタイプ、IPアドレスの取得方法、IPアドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要　本項目で設定値を設定したあと、必ず「拡張ネットワーク」の「設定登録」（➞次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、気をつけてください。

メモ

- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、［＜］または［＞］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた３桁分の領域）にカーソルを移動し、［∨］を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［＞］を押すと数値が増え、［＜］を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、［∨］を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、オプションのプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

■ 設定登録

ー

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと登録が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

■ ネットワーク設定初期化

ー

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、拡張ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「ネットワーク　セッテイショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

コネクション認識

スル、シナイ

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　I/F」に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワークを使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

動作モードグループの設定項目

動作モードグループでは、プリンタが動作するモードについて設定できます。

動作モード選択

LIPS、HEX-DUMP、LIPS-DUMP

動作モード選択では、本プリンタが動作するモードを設定することができます。通常、プリンタを使用するときは「LIPS」に設定しておきますが、データを文字や図形に変換せずに 16 進コードでプリントする「ヘキサダンプ」や、LIPS のコントロールコマンドの状態でプリントする「LIPS ダンプ」でプリントすることもできます。

「LIPS」：(LIPS モード)

通常プリントするときのモードです。

工場出荷時は、「LIPS」が設定されています。

「HEX-DUMP」：(ヘキサダンプモード)

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードでプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」(→ P.5-3) を参照してください。

「LIPS-DUMP」：(LIPS ダンプモード)

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」(→ P.5-4) を参照してください。

ユーザメンテナンスグループの設定項目

ユーザメンテナンスグループでは、プリント時の処理方法について設定できます。

特殊モードK

モード1、モード2、モード3

幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えてプリントする場合に、プリント待ち時間を短くして、プリント速度を優先したいときに設定します。

プリント速度を優先したいときは「モード2」または「モード3」に設定します。ただし、「モード 2」または「モード 3」に設定した場合、画質よりプリント速度が優先されるため、用紙の両端に一度印字した文字や画像の残像が印字されることがあります。

「モード 2」に設定すると、給紙元の切り替え先が給紙トレイで、トレイ用紙サイズが「フリー」に設定されている場合に、プリント待ち時間を短くすることができます。トレイ用紙サイズの設定を「フリー」にしてご使用の場合に、プリント速度を優先したいときは「モード2」に設定します。

「モード 3」に設定すると、切り替え先の給紙元に関わらず、プリント待ち時間を短くすることができます。

工場出荷時は「モード1」(画質優先モード)に設定されています。

画質を優先してプリントしたいときは、「モード1」に設定しなおしてください。

重要

- 本項目は、セットアップメニューの初期化を行っても初期化されません。
- 「モード1」または「モード2」に設定している場合、印字品質を保つための用紙サイズ切り替え時に、定着器の冷却を行うことがあります。このとき「02　テイチャクキ　レイキャク」のメッセージが表示されて、最大約1分間プリントが中断することがあります。
- 「モード1」または「モード2」に設定している場合、プリント終了後に次のジョブがなくても「02　テイチャクキ　レイキャク」のメッセージが表示され、定着器の冷却を行うことがあります。定着器の冷却が終わると機械の駆動が止まり、プリント可能な状態になります。

セットアップ以外のメニューの設定項目

4
CHAPTER

この章では、セットアップメニュー以外のメニューで設定できる内容について説明しています。

セットアップ以外のメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印の付いている項目や設定値は、オプション品の有無で表示されるときと表示されないときがあります。
- 「★」印が付いている項目は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、設定はプリンタドライバから行ってください。
- 太字で表示されている項目は、工場出荷時の値です。

■ ユーティリティメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ステータスプリント	–	P.4-3
クリーニング用紙	–	P.4-3
クリーニング実行	–	P.4-3
MP ローラクリーニング	–	P.4-4
拡張 I/F プリント ＊	–	P.4-4

■ ジョブメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
印刷履歴リスト	–	P.4-5

■ リセットメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ソフトリセット／ハードリセット	–	P.4-6
排出	–	P.4-7

■ 給紙選択メニュー

設定項目	設定値	参照ページ
給紙モード★	**ジドウ**、カセット 1、カセット 2*、カセット 3*、カセット 4*、トレイ	–
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4､A3、LT、LTR、LG､LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R	P.4-8

ユーティリティメニューの設定項目

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、オプションで搭載されたプリントサーバの情報をプリントすることができます。

メモ
- ステータスプリントの出力サンプルについては、「プリンタ情報のリスト」（→P.5-6）を参照してください。
- ステータスプリントは、現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされます。
- ステータスプリントは、用紙サイズに合わせて拡大／縮小されます。ただし、画像が欠けたり、余白があいたりすることがあります。
- 拡張 I/F プリントは、オプションのプリントサーバが装着されている場合にのみ表示されます。

ステータスプリント

−

搭載しているメモリ（RAM）の容量や、セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

クリーニング用紙

−

プリンタ内部の定着ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。給紙トレイに A4 サイズまたはレターサイズを横置きでセットし、「クリーニング　ヨウシ」を実行します。

クリーニング実行

−

プリントしたクリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行います。プリントしたクリーニング用紙の印字面を上にして、矢印が奥側に向くように給紙トレイにセットし、「クリーニング　ジッコウ」を実行すると、クリーニング用紙が給紙され、クリーニングを行います。

メモ
定着ローラのクリーニング操作についてはユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

MP ローラクリーニング

―

本項目は使用できません。

拡張 I/F プリント

―

* 本項目は、オプションのプリントサーバが装着されている場合にのみ表示されます。

オプションで装着したプリントサーバの名称、バージョン、設定内容などがプリントされます。

ジョブメニューの設定項目

ジョブメニューでは、印刷履歴をプリントすることができます。

印刷履歴リスト

ー

印刷したジョブの履歴をプリントします。

印刷履歴リストには、ファイル名や印刷日時などがプリントされます。

メモ
- 印刷履歴がない場合は、何もプリントされません。
- 印刷履歴リストには最大32ジョブの履歴がプリントされます。

リセットメニューの設定項目

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っているプリントデータの排出をすることができます。

ソフトリセット／ハードリセット

–

トラブルが発生したときや、プリントを中止したいときのプリンタのリセットを行います。

ソフトリセットを行うと、現在実行中の処理の中止やプリンタメモリ内のジョブ、受信したプリントデータや処理中のジョブを消去します。ハードリセットを行うと、すべての処理を中止しジョブを消去します。

ソフトリセットを行うには、リセットメニューで「ソフトリセット」を選択し［実行］を押します。

ハードリセットを行うには、リセットメニューで「ソフトリセット」を選択し［実行］を3秒以上押して「ハードリセット」を表示させ、指をキーから離します。

重要

- 排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。
- ソフトリセットを行うには、必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからにしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにリセットを行ってください。
- データの受信中にハードリセットをした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされない場合があります。

排出

—

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、本項目の操作を行って強制的にプリントデータを排出してください。

重要　データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。

メモ
- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- 排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→前項目）

給紙選択メニューの設定項目

給紙選択メニューでは、給紙トレイにセットする用紙サイズについて設定できます。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、EXR、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、オウフク　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、B6、A5、A5R、B5、B5R

給紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1 枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされている場合は、エラーメッセージが表示され、プリントを中止します。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ　Y2」は洋形 2 号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10 mm 内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復ハガキを広げた状態で、上下左右の用紙端から 5mm 内側までとなります。
- セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-10）でも同様の設定ができます。

付録

5
CHAPTER

この章では、参考情報や各種リストの内容などについて説明しています。

コントロールコマンドリストについて

コントロールコマンドリスト

LBP-1420 が標準で対応している LIPS コントロールコマンドの機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属の CD-ROM の［COMLIST］フォルダに収められています。LIPS コントロールコマンドは［LIPSCONT.TXT］というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどをご使用ください。

メモ　LIPS コントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

ダンプリスト

■ ヘキサダンプリスト

動作モード選択で「HEX-DUMP」に設定すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16進コードでプリントします。

1行に32バイトの16進コードを印字します。16進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4サイズポートレイトでのみプリントできます。

（操作方法：「セットアップメニューの機能と操作」→P.2-2）

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8､V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....................%...........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

■ LIPSダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。
現在選択されている給紙口の用紙サイズでプリントします。
（操作方法：「セットアップメニューの機能と操作」→P.2-2）

```
                         Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18          Page :  1

00000  ec c  ec P41;600J ec ¥  ec <  ec [11h  ec [?6␣I  ec [3000;1.r 72 65 67 72 65 67
00042  72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65

         *** skip 2960 Byte ***

03016  65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67  ec [0;1x  ec [{  ec [0;4x  ec [}  ec [0
03057  ;0x  ec [500;500f  FILE␣NAME␣--->␣HEIGHT.004␣␣T.KAWAI
03104  ec PzMincho-Medium.J78 ec ¥  ec [?350␣K  ec [1000␣C  ec [3000;4
03150  500f  !v!v!v!!J8;z9b;XDjL?Na!!!v!v!v  ec [?850␣K  ec [350
03197  ␣C  ec [5000;1500f  ec [4m  !vJ8;z9b;XDjL?Na$G;XDj$7$?  ec [
03243  7m  Bg$-$5$NJ8;z$K$J$k$+  ec [27m  !J#2%P%$%H!&%9%1!<%i%
03291  V%k!&%U%)%s%H!K  ec [24m  ec [27500;12000f  ec [5m  #C#O#M#M
```

- 枠囲みパターンについて
  コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。
- 改行・改ページを示す記号

|	lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、または ff（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。（例：　lf | ）

- 異常終了を知らせる記号

!	命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16 進コードのダウンロードで 16 進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

```
                    !
00000 ec[  ec[ 5 m  ABCD
```

■ LIPSダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

- ベクタモードのLIPSダンプリスト
  - ･命令は全角文字で印字されます。
  - ･パラメータは10進コードで、文字パターンは16進コードでそれぞれ印字されます。
  - ･パラメータが2つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード 20h（16進コード）は「␣」、文字コード A0h（16進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
  【例】 改ページ→ ff 　　FFh（16進コード）→ FF

プリンタ情報のリスト

プリンタ情報のリストについて説明しています。

重要　ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは、一部内容が異なる場合があります。

ステータスプリント

搭載している RAM の容量やプリント環境の設定内容などがプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［>］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。


Canon　STATUS PRINT　LASER SHOT LBP-1420

A3　セントロニクス　USB　拡張

バージョン : XXXXXXXXXX
サブバージョン : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
エンジンバージョン : XXXXXX

全体メモリ搭載状況 : 12 (12 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 1858 Kbytes

拡張機能グループ
スリープ動作 : する
スリープモード : 15分
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する

給紙グループ
給紙モード : 自動
トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択/トレイ : 使う
自動選択/カセット1 : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
用紙名称/トレイ :
用紙名称/カセット1 :

レイアウトグループ
コピー枚数 : 1枚
縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

印字調整グループ
スーパースムーズ : 使う
解像度 : ファイン
階調処理 : 標準
トナー節約 : 使わない
トナー濃度 : 4
中間調選択 : パターン1
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
印字動作 : 自動

インタフェースグループ
インタフェース選択 : 自動
タイムアウト : 15秒
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
ジョブ区切り : しない

ユーザメンテナンスグループ
特殊モードK : モード1

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : LASER SHOT LBP-1420
Description : Canon LASER SHOT LBP-1420
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS　Ver.01.26　LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2627
シリアルナンバー : 000000000000

Page Count : 0000007

5

付録

本プリンタについての注意事項

- LIPS IV コマンドのうち、フォントに関するコマンドは、ユーザ文字セットを登録しない限り使用できません。
- 従来シリーズとはメモリの管理方法が異なっており、印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。
- ファインモードに設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して600dpi の解像度が保てず、300dpiに落としてプリントすることがあります。この場合、最初からクイックモードに設定して300dpiでプリントする場合と画質が異なります。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また、使用するプリントサーバによっても異なります。

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ **CD-ROMの代引き配送サービス**

プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMを有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

メニュースタートアップ

給紙選択メニュー MAP B
用紙のサイズなどを設定します。

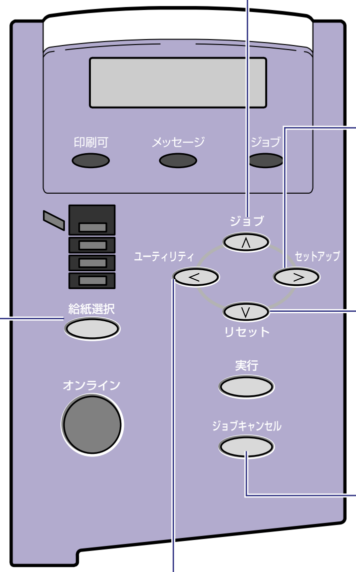
ジョブメニュー MAP B
印刷履歴リストをプリントします。

セットアップメニュー MAP A
エラー時の処理やインタフェースの種類など、プリントするときの環境を設定します。

リセットメニュー MAP B
プリンタのリセット操作やプリントデータの排出を行います。

ジョブキャンセルメニュー
現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、「ジョブキャンセルメニューの機能と操作」(→P.2-11)を参照してください。

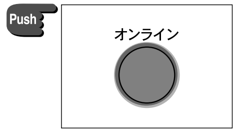


ユーティリティメニュー MAP B
プリンタの現在の設定内容などの内部情報をプリントします。

各メニューを表示したあとのメニュー項目(内容)については、該当する MAP A から MAP B を参照してください。

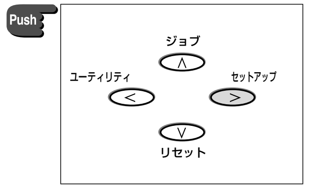
MAP A セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。



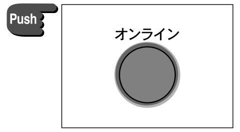
2. [セットアップ] を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ°
カクチョウ キノウ →



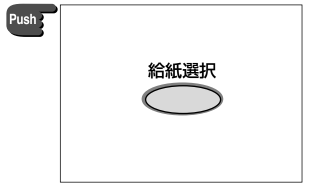
MAP B 給紙選択メニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。



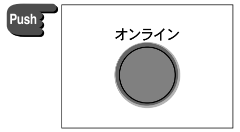
2. [給紙選択] を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ モート゛ →



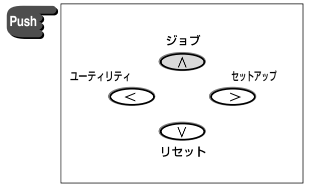
MAP B ジョブメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。



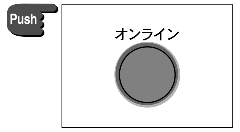
2. [ジョブ] を押します。
ジョブメニューが表示されます。

シ゛ョフ゛
インサツリレキ リスト ↓



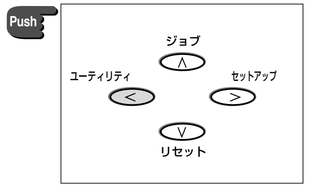
MAP B ユーティリティメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。



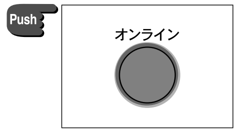
2. [ユーティリティ] を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータス フ°リント →



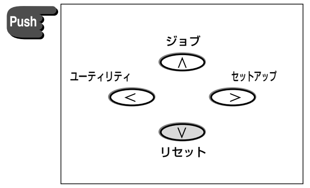
MAP B リセットメニューを表示する

1. [オンライン] を押して、オンラインランプを消灯させます。



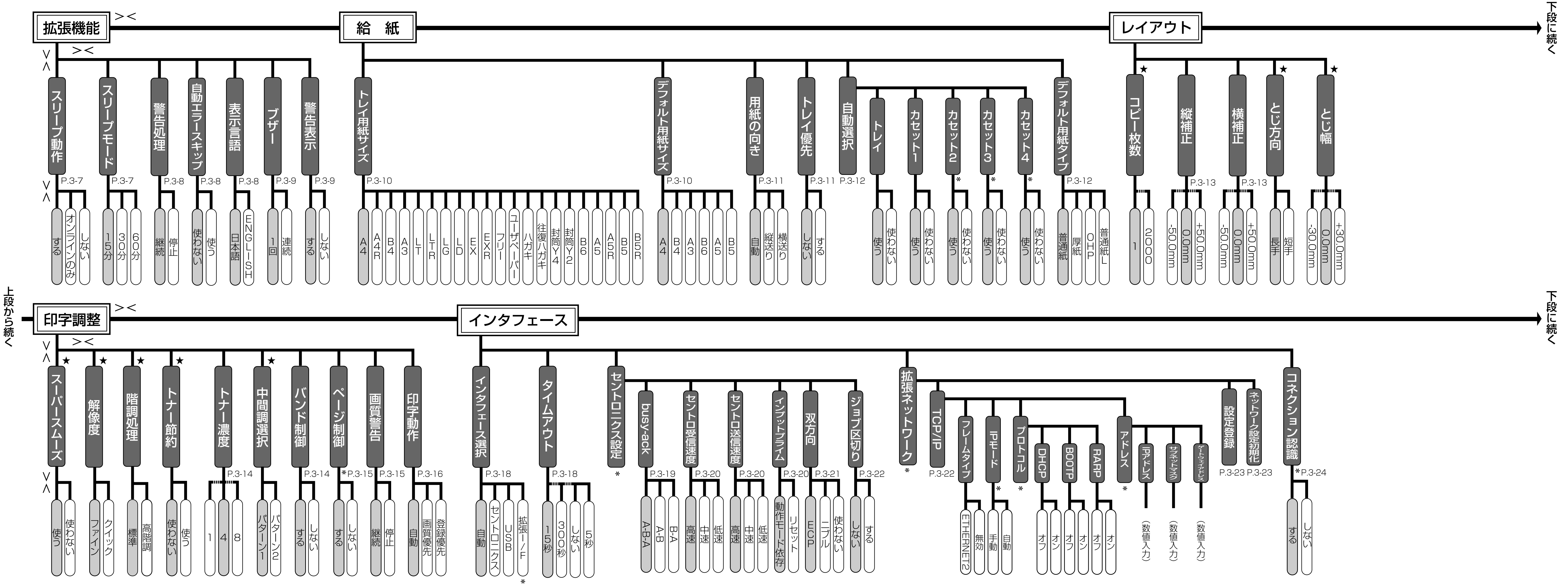
2. [リセット] を押します。
リセットメニューが表示されます。

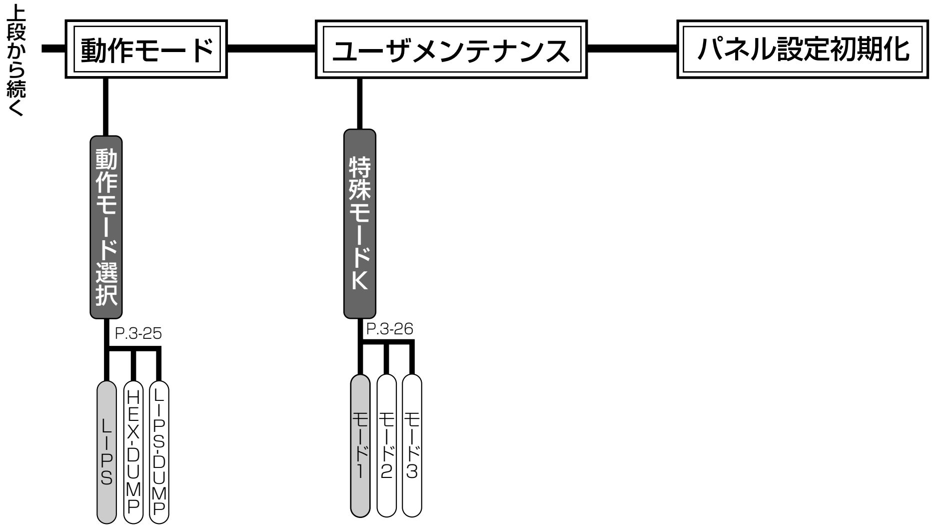
リセット
ソフトリセット →



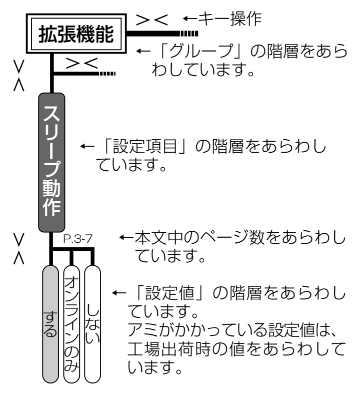
MAP A

メニュールートマップ





ルートマップの見かた



- ●ルートマップ中の「▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明を参照してください。
- ●「★」印の設定値は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、設定はプリンタドライバで行ってください。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの（∧）（∨）（＜）（＞）と［実行］の5つのキーを使って操作します。
  （∧）上の項目に戻る。
  （∨）下の項目に進む。または項目を決定する。
  ［実行］でも同様の操作が行えます。
  （＜）左の項目を選択する。
  （＞）右の項目を選択する。

セットアップ編

MAP B

メニュールートマップ

その他のメニュー編

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目 P.2-13
給紙選択メニューの機能と操作 P.4-8

- 給紙モード★
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 ＊
  - カセット3 ＊
  - カセット4 ＊
  - トレイ
- トレイ用紙サイズ
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - LT
  - LTR
  - LG
  - LD
  - EX
  - EXR
  - フリー
  - ユーザペーパ
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - B6
  - A5
  - A5R
  - B5
  - B5R

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目 P.2-9
リセットメニューの機能と操作 P.4-6

- ソフトリセット ハードリセット
- 排出

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目 P.2-7
ジョブメニューの機能と操作 P.4-5

- 印刷履歴リスト

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目 P.2-5
ユーティリティメニューの機能と操作 P.4-3

- ステータスプリント
- クリーニング用紙
- クリーニング実行
- MPローラクリーニング実行
- 拡張I/Fプリント ＊

●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明を参照してください。
●「★」印設定値は、プリンタの操作パネルのディスプレイに表示されますが、設定はプリンタドライバで行ってください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon　キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター　（全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　<平日> 9:00〜20:00　<土日祝日> 10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-1058AF